

# 家庭医療とは

市立伊東市民病院  
シニアレジデント1年目  
宮地 純一郎

# 家庭医療とは

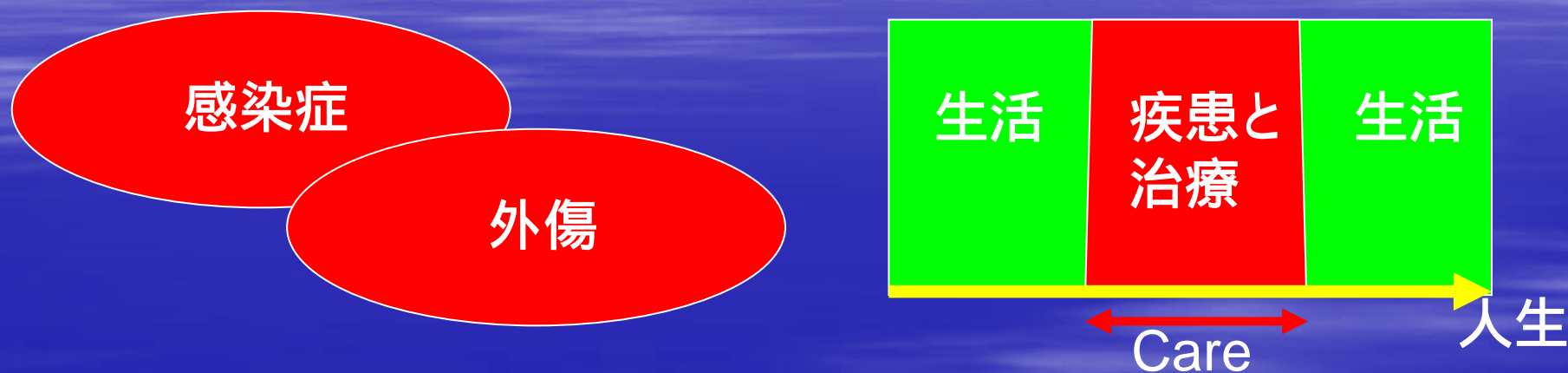
- 内容(何をする)よりはその目的(何をを目指す)に重点を置いた医療
- 何をを目指すのか？  
患者一人一人に個別化したケア(Tailor made medicine)を実践すること

# 今日、言いたいこと。

- Claim 1
  - 疾病構造の変化による、顧客のニーズが変化
- Claim 2
  - 個別化・多様化したニーズに応える困難さ
- Claim 3
  - ニーズに応えるために必要な技術と行動を集積したものが家庭医療である

# Claim1 ; 疾病構造の変化

急性疾患の時代



デジタルな1-0モデル

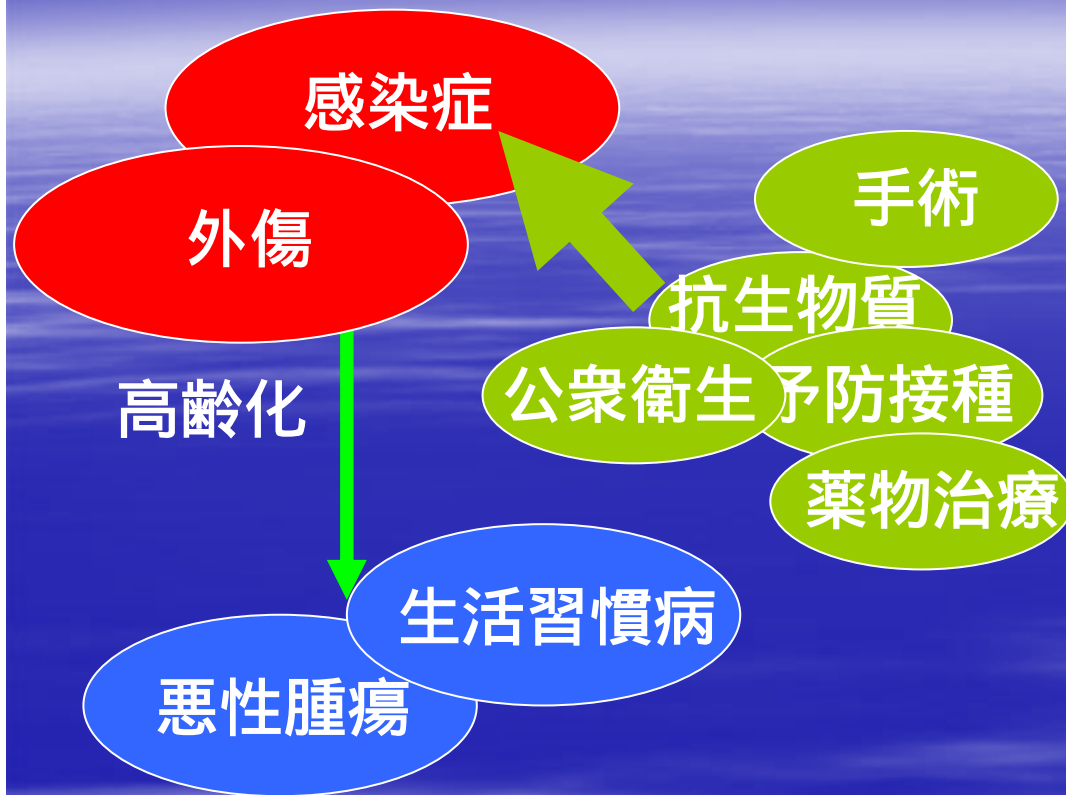
- ・治れば、終わり
- ・生活と治療は独立

疾患により人々の中に起こるニーズ

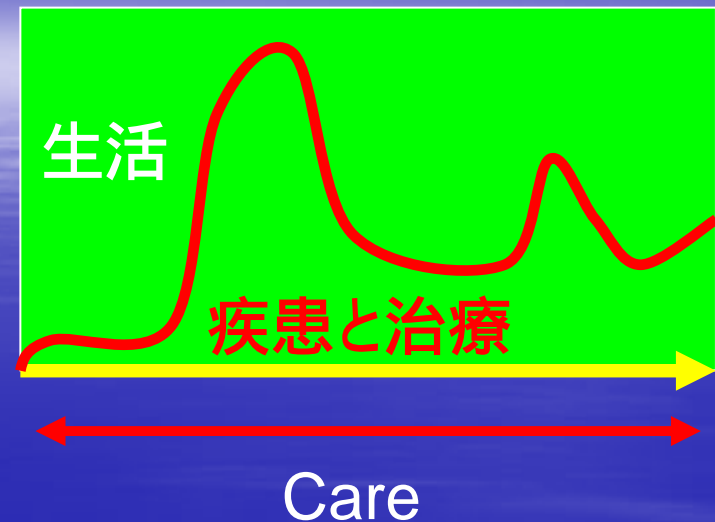


命を救うこと    病気を治すこと

## 急性疾患の時代



## 慢性疾患の時代へ



## 曲線的なアナログモデル

- ・治ることはない
- ・治療と生活が共存  
(切迫した救命ではない)

疾患により人々の中に起こるニーズ



命を救うこと・・・だけ？ 疾患を治すこと・・・だけ？

# 顧客のニーズが変化

- 命を救う、病気を治す
- から
- 命だけでなく、その次に大切なものも...
- 治療だけでなく、生活の中で大切なものも...

# Claim2 ; ニーズが個別化・多様化

- 例えば...
  - － 自分の隣の人の「命の次に大切なもの」
  - － わかりますか？
- 外来診療で...
  - － (例えば慢性疾患なら) 1ヶ月にたった15分
  - － 診断・治療も行いながら、
  - － 人の生活を、価値観を、思考を知る



- 70000人の医療を受けた人の消費者レポート
- 約1/3の医者が患者のMedical conditionに対する考えを聞きだすことが出来なかった
- 14000人の患者が医者がそうした質問を促すことが無かったと答えた。

How is your doctor treating you? Consumer reports 60(2) 81-88, 1995



# Claim3; 多様化したニーズに対応する 技術の集積が家庭医療

- 個人によって大きくかけ離れたニーズを的確に抽出する技術
- そして、その多様化したニーズに個別に対応していく手法
- 必要なものが集積して、家庭医療へ

# 例えば、ニーズの抽出のために

- 患者を個人として捕らえる
  - － 患者との接触機会を増やす
    - 臓器に関係なく、疾患を広く扱う
  - － 患者と時間を経て接触する
    - 年齢に関係なく、子供から、老人まで
    - 継続したケア
  - － 患者の周辺環境を理解する
    - 家族や地域
- 患者と上手に会話する
  - － 面接技法や解釈モデル

# 例えばニーズに個別に対応するために

- 患者へ多角的にアプローチする
  - － 方向を変えて、患者に間接的にアプローチ
    - 家族へのアプローチ
    - 地域へのアプローチ
  - － 立場を変えて、医者以外のものがアプローチ
    - 職種を超えたアプローチ ; Co-ordination
  - － 手法を変えて、西洋医学を超えたアプローチ
    - Alternative medicine 漢方

# まとめ

- 疾病構造の変化が顧客ニーズの多様化をもたらした
- 多様化したニーズを抽出し、対応するには従来医学には無い技術と知識が必要。
- その技術と知識を集積したものが家庭医療である

スライドショーの最後です。クリックすると終了します。  
なお、本プレゼンテーションはフィクションです。実在の人物・団体とは一切関係はありません。